

# 京都府生協連 ニュース

2002年 1月 15日  
NO. 36 (通算102号)  
京都府生活協同組合連合会  
京都市中京区烏丸夷川東南角生協会館2階  
TEL. 075-251-1551  
FAX. 075-251-1555

## 2002年京都府生協連新春交歓会

行政・協同組合関係・各界から130名に参加いただく

京都府生協連2002年新春交歓会



年頭のあいさつをする吉田会長理事



京都府生協連2002年新春



お礼のあいさつをする末川副会長理事

京都府生協連2002年新春交歓



京都府商工部井上次長あいさつ

京都府生協連2002年新春交歓



近畿農政局黒木局長あいさつ

京都府生協連2002年新春交歓



J A 京都中央会小龍専務あいさつと乾杯



食品衛生法改正請願のとりくみにご尽力をいただいた国会議員のみなさん



## CONTENTS

1. 2002年新年のごあいさつ
2. 食品衛生法改正国会請願のとりくみ  
お礼と報告  
国会議員との懇談のようす
3. おもなとりくみ  
狂牛病と食の安全  
近畿農政局との懇談

- 広報活動交流会
- J A 女性協と生協役職員との懇談
4. 京都府生協連  
11月～12月度の主な活動
5. 1月～2月のおもな行事のお知らせ

# 新年のごあいさつ

## 組合員の期待にしっかり応えてい く生協でありたい



あけましておめでとうございます。  
皆様の日頃の京都府生協連に対するご支援、ご協  
力に感謝申し上げますとともに、皆様のご健勝と  
御多幸をお祈り申し上げます。

昨年は、21世紀の幕明けの年として明るい展  
開が期待されましたが、世界的な不況が懸念され  
るうちに、アメリカにおける同時多発テロという  
許すべからざる犯罪が行なわれ、そしてアフガン  
報復戦争となって、まったく暗い一年となってし  
まいました。

国内にあっても、不況がいつそうすすみ、くら  
しの困難はさらに深まり、失業率は5%を超え、  
月々記録を更新しているといったありさまです。

こうした中であって、京都の生協は組合員の生  
協としての本質を生かして、組合員の声をしっか  
りつかんで事業や活動の改善に役立てたり、組合  
員の活動参加をいろいろな場ですすめてきました。  
と同時に、これはまだすべての生協で成果を上げ  
ているとはいえませんが、経営構造を改善する  
とりくみをおこなってきました。組合員の利用高の  
伸びがなかなか望めなくなっている中でも、健全  
な経営を維持することは、生協存続の必須条件と  
なっています。

さらに、一昨年来、国会請願署名運動をおこな  
った、「食品衛生法の改正充実を求めるとりくみ」  
も引き続き旺盛に展開し、昨年12月7日の国会で  
請願採択されるという大きな成果をあげることが  
できました。

これは、生協組合員だけでなく、ご一緒に署名活  
動や請願の活動にお取り組みをいただいた協同組  
合や諸団体の共通の成果であり、喜びであります。  
昨年、大問題となったBSE（いわゆる狂牛病）  
問題ひとつとっても、国をあげて食品の安全を確  
保することは、緊急の課題となっていることがわ  
かります。

さて、今年はどんな年となることでしょうか。  
明るい希望に満ちた年となることを願っています  
が、どこが出している予測を見ても暗いものばかり  
です。景気の回復は見込めず、収入は増えず、



京都府生活協同組合連合会  
会長理事 吉田智道

失業者はさらに多くなると予想されます。

生協としては、安易な期待にまどわされること  
なく、今年も組合員の声と活動を大切に、役職  
員が一致団結してすすむことが求められていると  
いえます。不況の厳しい時であるからこそ、組合  
員のくらしに役立つ、また、街や職場、学園を活  
性化し、食品の安全の確保のほか、生協に寄せら  
れている期待にしっかりと応えていく、そうした  
生協でありたいと願っています。

今年もまた、会員生協の皆様のいっそうの御健  
闘を期待して、新年のごあいさつといたします。

2002年1月

会長理事	吉田 智道
副会長理事	末川千穂子
専務理事	原 強
常任理事	粟飯原利彦
常任理事	小川 正
常任理事	小峰 耕二
常任理事	田中 弘
理 事	筋 祥子
理 事	大関 健朗
理 事	大塚 正文
理 事	小林 和美
理 事	吹田 知久
理 事	平 信行
理 事	寺尾 正俊
理 事	沼沢 明夫
理 事	廣瀬 佳代
理 事	松浦 順三
理 事	森川 隆
理 事	吉田 隆英
監 事	酒井 克彦
監 事	島田 浩
監 事	行松 龍美

---

## 「食品衛生法改正・運用強化等に関する請願」が採択される！！

---

2001年12月10日

「食品衛生法改正・運用強化に関する請願」採択にあたってのお礼

京都府生活協同組合連合会  
会長理事 吉田 智道

12月7日に開催された衆議院本会議および参議院本会議において、「食品衛生法改正・運用強化に関する請願」が全員一致のもとに採択されました。

この「請願」につきましては、先の第151国会にむけて、全国から1373万筆におよぶ署名が衆参両院で541名の国会議員の紹介議員を通じて提出されながら（京都からは46万5620筆の署名が自由民主党・菱田嘉明議員、民主党・前原誠司議員、日本共産党・穀田恵二議員を通じて提出され、京都府、京都市はじめ府内16の自治体からの意見書が提出されておりました）、残念なことに「審査未了」に終わっていたものを、今回の臨時国会にあらためておなじく衆参両院で542名の国会議員を通じて提出していただいていたものです。

この「請願」は、大規模な食中毒事故の多発に加え、0-157、遺伝子組換え食品、環境ホルモンなど、これまでには問題にならなかったような問題が相つぎ発生するなかで、食品の安全を守るための社会的なシステムを整備するために、根拠法となる食品衛生法の抜本的な改正をもとめて、全国の生協が、JAをはじめ協同組合関係者、労働者福祉協議会や消費者・市民団体の協力のもとにとりくみをすすめてきたものです。

この秋、日本においてもBSE（狂牛病）が発生したことにより、国民のなかで食の安全についての不安がたかまるなかで、食品衛生法の改正が強くもとめられており、わたしどもは今回の「請願」採択を切にのぞんでいたところです。

今回、「請願」が採択されたことは、ひとえに紹介の労をとっていただいた国会議員のみなさまをはじめ、多くの方々のご支援・ご協力の賜物であり、関係各位に対して、ここに深く感謝申し上げます。

わたしどもは、今回の「請願」採択をふまえ、日本生協連のよびかけにもとづき食品衛生法改正にむけてひきつづきとりくみをすすめてまいります。みなさまの変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます、お礼とさせていただきます。



## わたしたちの願い、一歩近づく！！

「食品衛生法の改正・運用強化に関する請願」が国会で請願採択されました。関係各位に御礼を申し上げますとともに、今後の法改正に向けての取り組みへの一層のご参加・ご支援をお願いいたします。



2001. 12月10日

京都府生協連「食の安全」推進委員会委員長 小峰耕二

12月7日、衆参両院本会議で標記の請願が全会派の賛同により採択されました。学習・署名・請願の運動をかつてない規模ですすめていただいた生協組合員のみなさん、そして多大な力をあわせていただいた京都府農業協同組合中央会、森林組合連合会、京都府漁業協同組合連合会、京都労働福祉協議会さんをはじめ、多くの団体のみなさん、この運動が確かな一歩を踏み出したこと喜びたいと思います。あわせて、ご協力いただいた政党・議員・関係各位に厚く御礼申し上げます。

生協では、かねてより「食の安全」の願いを大切にした取り組みを一貫してすすめてきました。

しかし、今日的な食をとりまく不安、社会問題が多発する状況があるなか、消費者個人の選択や生協のみの事業的取り組みだけでは、食の安全は守るには限界があるとの考えから、99年以降、時代要求に不適合となっている食品衛生法改正（食の安全を確保する社会的な仕組みづくり）にむけてのとりくみを開始し、2000年度は、みなさんの力をわせて、府内で46万6千筆（全国では、1,373万筆）もの署名が集約される運動を展開してきました。国家請願にあたっては、府議会、市議会をはじめ、府内17自治体で意見書を採択いただくとともに、多くの政党・国会議員のみなさんに紹介議員を引き受けていただきました。2001年春の通常国会では、残念ながら「審査未了」となりましたが、この秋の臨時国会にむけて、再請願のとりくみをすすめ、採択されたものです。

今日、狂牛病の発生により消費者・生産者とも大変な事態に直面していますが、改めて食の安全のために食品衛生法の改正をはじめとした社会的な仕組みを整備することが痛切に求められています。今回の請願採択は、立法府としての国会が食品衛生法の改正・運用強化の必要性の意志を示したものであり、運動の大きな一歩です。これをふまえて、法改正という運動目標の実現にむけて、取り組みをすすめていきましょう。

関係各位の一層のご支援を重ねてお願いいたします。



11月28日、国会議員要請行動

## 国会議員との勉強会・懇談会のようす



山井和則衆議院議員、玉置一弥議員秘書木村さん



奥山茂彦衆議院議員



前原誠司衆議院議員



中塚一宏衆議院議員



福山哲郎参議院議員、松井孝治参議院議員



西山とき子参議院議員、穀田恵二衆議院議員

### —こんな話しをしました—

組合員からは、「表示をみて、自分で食品をみて選択できたが、乳業メーカーに事件や狂牛病の問題のように、個人ではさげられない。情報公開をしてほしい」、「学習して、たくさんの署名を集めたのに、前回の国会で不採択となったことはがっかりした」「狂牛病問題では、消費者だけではなく、生産者にとっても重大な問題。生協のお店でも牛肉の利用が極端にへった。このままでは日本の酪農が守れない」など。参加できなかった組合員の思いをカードにして、それぞれの会場で手渡した。

各議員からも、「食の問題は命にかかわる問題であり、国の危機管理の問題である」と考える、「ダイオキシンや環境ホルモン、遺伝子組換え商品の問題など新たな問題がたくさん発生している。国は情報公開をし、法案化しなければならない」となど、力強い発言をいただいた。全体で96名の参加がありました。



## 狂牛病と食の安全学習会

130名が参加



10月25日、コープイン京都において「狂牛病と食の安全」の学習会を130名の生協組合員、職員が参加して開催しました。

「狂牛病」については、日生協の安全政策推進室原英二さんに、「食品衛生法改正のとりくみ」について、同じく日生協組合員活動部の北村洋さんに今後の取り組みについてお話しをしていただき、学習をしました。参加者の中からは、「狂牛病の正しい知識がわかってよかった」「他の人にも説明できる」「あらためて国の責任を問うとともに、だからこそ、食品衛生法改正が必要」など意見がありました。

## 元気を広げる広報活動

交流会



12月1日、せいきょう会館において京都府生協連・大学生協京滋奈良地域センター主催、広報活動交流会を30名が参加して開催しました。漫画家のオダ・シゲさんからは「四コマまんがの意味するものと私」都と題して7お話ししていただき、奈良県立大学『大和路通信』京都生協『パッチワーク』、乙訓医療生協『青い空』等の取り組みを報告をしていただき、広報活動について交流をしました。

## 農林水産省近畿農政局

との懇談



11月13日、近畿農政局会議室において、近畿農政局と近畿二府四県の生協連と生協との懇談会を開催しました。

近畿農政局からは伊藤局長をはじめ31名、生協からは17名の参加がありました。伊藤局長からは「食料・農業・農業基本法のもとで、日本の食料自給率の向上、食生活の見直し、生産者と消費者の連携、関係強化、安全安心の確保表示の問題、新たに法制化された食品リサイクル法など、連携してすすめたい」などのあいさつ後、各生協での取り組み報告、農政局各部署からは情報提供をいただき、意見交換をおこないました。

## JA女性協と生協役職員と

の懇談



12月12日、京都生協のお店パーティティの会議室で、JA女性協と京都府生協連役職員との懇談会を開催しました。JA女性協会長大村律子さんからは、「生産者、消費者が一緒になって安全な食品は何かを考えよう」とあいさつ、生協の農産物の産直について、完全満足商品をお届けする物流システムについて報告し、JA女性協からは、日本の農業を守るために、中国の農産物の視察の報告を受けた。京都府生協連廣瀬佳代理事からは、「事業、商品、食の安全について話し合いが深められ、感慨深い。お互いの協同組合が今後も協力していきたいよう願う」と閉会のあいさつがあった。

## 京都府生協連

### 11～12月度のおもな活動

#### 行政・関係団体との関係強化のとりくみ

- 11/7 協同組合4連協議会事務局会議を開催し、決算報告、次年度方針について協議した。
- 11/12 JA京都主催、「BSE（狂牛病）危険突破京都府内生産者総決起集会」が300名の参加で開催され、京都府生協連からも参加した。



- 12/25 商工会議所と京都府生協連との懇談会が10名の参加で開催し、商工会議所からは、京都の2001年の地域経済の動きや中小企業の状況報告、京都府生協連からは、「食の安全を求める京都府行政への施策充実をめざすとりくみ課題、京都生協二条駅の店舗事業、地場商品とりくみ、地場産業界との関係強化など、京都の業界、経済界とのいっそうの情報交換など関係強化をお願いした。



#### 日生協・生協間連帯強化のとりくみ

- 11/1 事業連帯委員会を開催。
- 11/4 滋賀県生協連生協大会に参加
- 11/9 京都府庁生協臨時総代会を開催
- 11/17 市民平和行進に関する全国幹線生協

府県連責任者会議開催され、2001年度のまとめと2002年度の方針について協議。

- 11/13 近畿農政局との懇談会に生協から5府県連7生協が参加。



- 11/21 日生協府県連協議会が高知県で開かれた。また橋本大二郎県知事との懇談もおこなった。
- 11/6 全国県連責任者会議

#### 平和・環境・暮らし・食の安全を守る活動

#### のとりくみ

- 12/8 京都府環境フェスティバルが開催
- ～ 9 され、京都府生協連もブースを出展しました。
- 12/23 「2001年被爆者をはげますつどいクリスマスパーティー」がラポール京都で開催されました。



#### 委員会・実行委員会の開催と生協間連帯のと

#### りくみ

- 12/1 京都府生協連・大学生協京・滋・奈良地域センター主催で「第7回京都のせいきょう元気を広げる広報活動交流会」を漫画家オダシゲさんを迎え開催。

## 1月～2月の

### おもな行事のお知らせ

#### 第14回京都府生協連役職員研修会

日時：1月23日(水)  
会場：京都府庁内西別館 4階大会議室A  
テーマ：「現在の日本経済をどうとらえるか、今後の世界と日本の経済の行き先をどう見るのかか」  
講師：熊野剛雄さん(専修大学名誉教授)  
対象：生協役職員、組合員  
主催：京都府生協連

#### 第3回京都府消費者フォーラム

##### I. ワークショップ

日時：1月25日(金)  
14:00～16:00  
会場：ハートピア京都 4階第5会議室  
テーマ：「京のこだわり たべる たいせつー  
こんな食品衛生法があったら」  
講演：「食の安全のためにーわたしの提案」  
講師：神山美智子氏(弁護士)  
報告：「食の安全を確保するためにー  
こんな食品衛生法があったら」  
報告者：小峰耕二(食の安全推進委員会委員長)  
参加：無料。保育ルームなし。  
ワークショップ主催：京都府生協連

##### II. シンポジウム

日時：1月26日(土)  
13:30～15:30  
会場：ハートピア京都  
テーマ：「自立と健康、愛着のある地域づくり」  
夢のある高齢期の食と健康づくりの提案

##### <内容>

提案：「夢のある高齢期は食生活から」  
提案者：料理研究家 坂本廣子さん  
パネラー：坂本廣子(料理研究家)  
東あかね(京都府立大人間環境学部教授 医師)  
松井 浩(運動コーディネータ)  
天野みどり(生協くらしの助け合い・お父さんの料理教室)

参加：無料  
シンポジウム主催：夢のある高齢期を考える  
京都プロジェクト

#### 2001年度監事研修会

日時：2月2日(土)  
13:30～16:30  
会場：せいきょう会館4階会議室  
内容  
報告：「京都府の指導検査と生協運営への期待」  
京都府商工部消費生活課  
学習：会計基準改正の内容、生協監査基準による監査のすすめ方  
講師：山崎昇氏  
八重洲監査法人代表社員、公認会計士  
生協会計基準委員会委員  
会員生協の取り組み交流も予定  
主催：京都府生協連

#### 食料・農林漁業・環境フォーラム京都2002

日時：2月23日(土)  
13:30～16:30  
会場：KBSホール  
<内容>  
講演：「世界の食文化にふれて」  
講師：福島敦子氏(ニュースキャスター)  
パネルディスカッション：  
テーマ「地産地消で育てる京都の農林水産業」  
コーディネーター：嘉田良平氏(農林水産政策研究所)  
※パネリストに京都生協理事金澤栄子さんが参加  
主催：京都府農林漁業普及啓発連絡会議

#### 第4回コープ・産直・地場商品大交流会

日時：2月23日(土)  
12:30～16:00  
会場：龍谷大学深草学舎 3号館301教室  
テーマ：「楽しくひろげよう! ささえ合う心 コープの輪」

##### <内容>

2001年商品活動の成果を映像で紹介  
商品活動の事例報告  
2002年度のとりくみについて  
主催：京都生活協同組合

